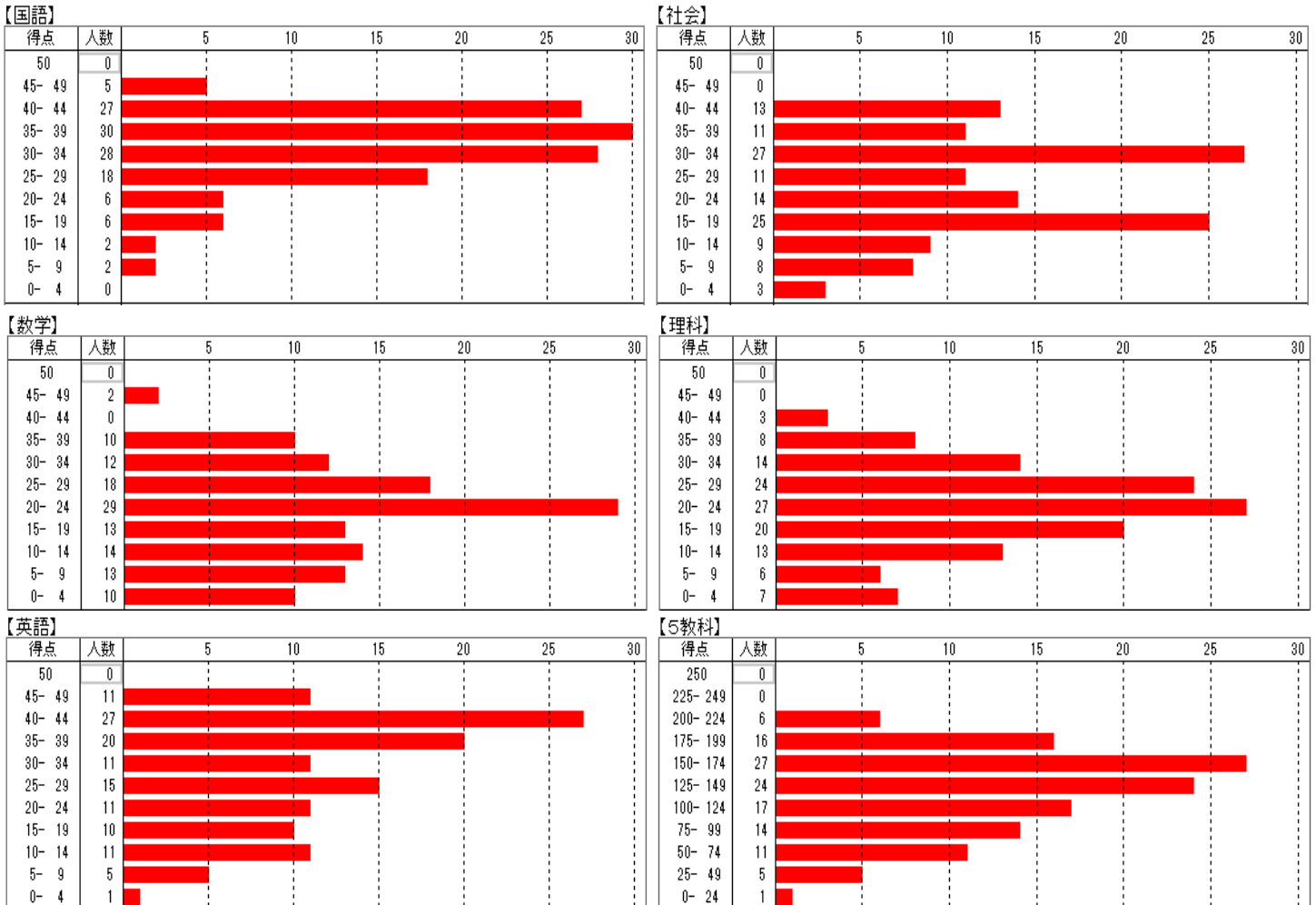


式

2021年1月19日(火)
 豊田中学校 第2学年
 学年通信 第42号
 文責 山本 佳奈


1月13日(水)に静岡県学力診断調査がありました。昨年度も載せましたが、県学調の目的(ねらい)は『日頃の学習内容をどの程度理解できているか』を見極めることです。「中学校2年生の2学期までの学習内容を理解できているのか」を確認するテストとなります。今の自分が理解できていること、理解できていないことをしっかり分析し、自分の今後に生かしましょう。

☆学力診断調査☆



発見!! ヒーロー☆ヒロイン

美鈴さん、心遣いに感動! 癒されました。美化委員長として活躍してくれています。学府あいさつ運動で小学校へ出向いてくれた生徒会、生活委員のみなさん、寒い中お疲れ様でした。心乃さん・あゆみさん・玲雨さん、『社会を明るくする運動』作文で、優秀賞をいただきました。資源回収で活躍してくれた生徒会・学級委員・ボランティアのみなさん、ありがとうございました。見えないところでも活躍してくれているみなさんに感謝!

	傾向・分析、アドバイスなど
国語	<p>【漢字の読み書き】丁寧に書くことができた人が殆どでした。10～7点を取ることができていた人が多くいました。漢字問題は得点源です。「国語が苦手…」という人ほど、毎日の書き取りにこつこつ取り組み、漢字をしっかりと覚えておきましょう。</p> <p>【読解】「書く」ことが次の課題だと話してきましたが、文末表現や条件に注意して答えようとしている人が増えたように感じられました。しかし、後半の文学的文章では、少し集中力が切れたり焦ったりしたのか、文末表現(「～気持ち」「～こと」を「～から」と答えている)や条件の見逃し(「奏人」「自分」の二語を使う)などのミスが見られました。読み取った内容を適切に記述できるかが、今後点数を伸ばしていくための鍵です。</p> <p>【古文】ざっくり内容を捉えることができたでしょうか。以前も「会話部分を探す」や「動作主を捉える」などの問いは出やすいと話したことがあります。会話探しは正答率が低かったです。また練習しましょう。</p> <p>【作文】時間が足りず書けなかった人もいましたが、書けた人については、段落や書き出しの条件など、全員完璧に書くことができていました。すばらしいです！</p> <p>3学期も補習を設定できれば、実施する予定です。それ以外でも疑問に思ったところは、すぐ解消するようにしましょう。休み時間や昼休みなど、ぜひ来てください。</p>
社会	<p>全体的には、ワークなどの問題集でよく見かけるとな問題が多く、模範解答もこれまでの学習で見たことのあるような問題が多かったと思います。今回満足いく点数がとれなかった人は、サイドブックを用いて復習を始めましょう。</p> 
数学	<p>1の計算、2の小問、5、6の空間図形、8の文字式の説明、10の1次関数のグラフは大変良くできていました。計算力、数量や図形についての知識についてはきちんと理解できている生徒が多かったです。</p> <p>3の投影図では、立面図・平面図において見える辺をすべてかくことができませんでした。4の作図では、「折り目」がキーワードです。どの技法を使えばいいか、きちんと覚えましょう。7の資料の活用では、用語の理解が不十分です。9の連立方程式の活用では、立式ができない生徒が多かったです。11、12の1次関数では、距離の求め方、文章からグラフへの表し方ができていませんでした。</p> <p>これからの勉強で意識してほしいことです。1つ目は、文章問題や応用問題をたくさんやることです。知識としては身に付いているにもかかわらず、経験不足のために立式できない生徒が多いと感じました。基礎問にある応用問題に積極的に取り組むこと、そしてこれから始まる自習室のチャレンジB問題を分けるまで努力することが必要になります。2つ目は、主体的に取り組むことです。復習ノートでどんどん実践的な問題を解いたり、幅広く取り組んだりすることです。計算力は身に付いてきているので、計算以外の単元をやりましょう。今回のテストをきちんと分析し、自分に合った内容で取り組みましょう。</p>
理科	<p>単語を答える問題が数問出されていました。全問正解している人もいれば、残念ながら正解することができなかった人もいました。単語を問う問題は、確実に点数を取っていきたいものです。教科書の太文字になっている単語を確実に頭に入れておきましょう。そのために、教科書を何回も読む人、ノートに何度も書く人、ワークを解く人など、自分にあった方法で時間をかけながらこつこつ復習していきましょう。</p> <p>今回のテストでは、提示された資料から読み取ったり、条件に合うものを見付けたりする問題が見られました。知識を個別に覚えている人は、苦勞するような出題形式だったと思います。しかし、これから皆さんが挑んでいくテストは、このような知識と知識をつなげて答えを導き出すようなものが増えてきます。実験で調べた結果だけではなく、なぜそのような規則性になるのか、それぞれの関係性などを把握しておく必要があります。これから始まるサイドブックによる学習で、わからなかった問題は解説をよく読んで現象の根底にあるものをしっかりと理解していきましょう。また、日頃の授業でも、実験結果だけを書き残すのではなく、ノートを見返したときにどんな目的がある実験なのか、前時の内容とどんな繋がりがあのかなどを把握できるノート作りをしていきましょう。</p>
英語	<p>【リスニング問題】例年に比べて話すスピードが少し速くなったかと思いますが、動じることなく問題に取り組むことができていたように思います。1(4)や(5)のように、聞き取った情報から自分の頭の中で計算し、答えを導き出す問題が増えてきているので、そのような問題への対策をしていきましょう(例: Mihoは8時から10時まで宿題をし、その後2時間テレビを見た…。→ 質問 Mihoは11時に何をしていましたか?)。また、3のまとまりある文章の聞き取りでは、文章の量(聞き取るべき情報量)が多いため、問題用紙にメモを取るなどして、聞き逃しをしないように心掛けましょう。</p> <p>【筆記問題】4や5のような長文問題は、解答に時間がかかり、配点も大きいです。そのため、できるだけたくさんの長文を読み問題を解くという練習が必要です。ラボの中にも長文問題がありますので、「長文問題の練習」としても活用してください。動詞を適切な形にする問題では、不規則変化動詞がよく問われます。確実に運用できるように練習しましょう。6の問題は、ベーシックな問題が多かったと思います。しかし、問題の読み落としが見られ、文末に入る yesterday や too を忘れていた人がいました。</p>